



おおぎみ

広報 No.271

KOHO OGIMI 2017年10月1日

大宜味



伝統をつなぐ「塩屋湾のウンガミ」

撮影日時: 9月9日(土)
撮影場所: シナバ(青年浜)
<塩屋湾のウンガミにて>

国指定重要無形民俗文化財「塩屋湾のウングミ」



▲シナバ(青年浜)でハーリーを迎える女性たち



▲奉納角力



▲豊年踊りの様子

旧盆明けの最初の亥の日にあたる9月9日(土)、「塩屋湾のウングミ」が塩屋湾と湾周辺地域にて行われました。塩屋湾のウングミでの神人儀礼は田港から始まり、屋古、塩屋での祭祀と続きます。屋古での祭祀終了後に行われた塩屋湾を横切る御願バーリーには、今年も多くの人が見物に訪れ熱気に包まれました。地域の人たちは、神人を中心にした祭祀や御願バーリー、奉納角力によって地域の豊作・豊漁と無病息災を祈りました。

塩屋湾のウングミはウグンマール(御願年)とウドゥイマール(踊り年)が交互にやってきます。今年がウドゥイマールの年にあたり、翌日の10日(日)にはアサギマーにおいて、塩屋組・大川組・兼久組に分かれ、豊年踊りが披露されました。

海神祭・豊年祭・豊年踊り



▲9日:根路銘・上原区海神祭の様子



▲10日:根路銘・上原区豊年祭「五福の舞」



▲9日:謝名城海神祭の様子



▲9日:饒波区豊年踊り「鶴亀」

9月9日(土)・10日(日)、豊作・豊漁、無病息災や地域の発展を祈願する海神祭・豊年祭が開催されました。9日・10日に根路銘・上原区で海神祭と豊年祭が、9日には饒波区で豊年踊り、謝名城で海神祭が行われました。根路銘・上原区では9日、旅行中のスペイン人家族が賑やかな雰囲気誘われて会場を訪れ、父親が角力に参加するなど盛り上がりを見せました。饒波区の豊年踊りはプログラムが18番まであり、観衆は最後まで演者に真剣なまなざしを向けていました。饒波区の山城初子区長は「地域の企業や一心福社会、役場、保育所の方たちなどが文化を残そうと頑張ってくれた。先輩たちの伝統を受け継ぎ、みんながやっていくことが大切だ」と話しました。

宮城ハツさん100歳祝い

9月18日(月)の敬老の日に、宮城功光村長及び村社会福祉協議会の島田哲夫会長、役場関係者などが100歳を迎える宮城ハツさん(屋古区)宅を訪れ、長寿を祝いました。自宅には家族や親戚、近所の方が集まり、内閣総理大臣からの祝い状や記念品が村長から贈呈されました。また、村や村社会福祉協議会からも記念品や祝金が贈られました。今年度、大宜味村では8名の方が100歳を迎えられます。本当におめでとうございます。



祝いの席で



ハツさんはまだ保育所の無い時代、地域の子どもたちをあずかり育てていたそうです。現在は4名の子どもに孫7名・ひ孫4名がいます。村長からは、「これからも子や孫・ひ孫の成長を見届けて欲しい」と激励のあいさつがありました。祝者あいさつでハツさんは、「100歳のお祝いをこうして祝ってもらえるなんて夢にも思わず、びっくりしている。長年生きてきて部落のことを忘れたことはない。先輩として何が出来るか毎日考えている。今日、皆に来てもらってまだ自分の役目は終わっていないと思うことができた。今日を迎えられて良かった」と話しました。あいさつ前は娘さんに、「緊張して頭が真っ白じゃない?」と少し心配されたハツさんでしたが、その心配もなんのその。祝いの席の主人公は誰よりも落ち着いてあいさつを行っていました。

学校跡地活用事業について

【旧津波小学校活用事業者と契約締結】

活用事業交渉権者との調整を行ってきた旧津波小学校について、9月1日付で契約を締結しました。9月7日には島袋幸俊副村長も出席し地鎮祭が行われました。活用する事業者は、「紅仁株式会社」(代表取締役 後藤徳彦)です。事務所を字津波283番地に置き地域に根付いた運営で、魚の陸上養殖を主とした事業を展開し、新たな村の特産品開発に繋がることが期待されています。養殖事業の成果・初出荷については、来年の夏ごろを目指して改修工事や雇用の募集などが進められます。



【今後について】

- ・ 職員室棟に事務所を設置します。
- ・ 体育館は養殖のための改修工事が行われます。
- ・ 教室棟についても、事業展開により活用が予定されています。
- ・ 運動場については、当面の間一部の活用となっており、住民の出入りについては可能となっています。また、イベント等実施については、村教育委員会への使用許可申請の調整を行い、事業者との調整を図りながら実施可能となっています。



むらづくり応援寄附金運用状況

大宜味村むら作り応援寄附条例第4条の規定により、下記のとおり運用状況を公表します。

◎平成28年中の寄附金額 100,045千円
 平成28年中の寄附金100,045千円のうち特典及び事務費等を控除した54,469千円を平成29年度当初予算において、指定いただいた下記事業に充てました。

- | | |
|-----------------------|----------|
| ① 産業の振興に関する事業 | 14,707千円 |
| ② 保健・福祉の充実に関する事業 | 9,804千円 |
| ③ 教育・文化の振興に関する事業 | 9,260千円 |
| ④ 生活環境に関する事業 | 4,358千円 |
| ⑤ その他大宜味村を元気にする為必要な事業 | 16,340千円 |

◎平成29年1月～3月までの寄附金額 12,498千円
 平成29年中の寄附金については、平成30年度当初予算において、指定いただいた事業に充てます。



大宜味村幼保連携型総合施設整備に係わる住民説明会の開催について(案内)

大宜味村子ども子育て支援室は、大宜味村幼保連携型総合施設整備に係わる住民説明会を下記の日時で開催します。

1. 対象者: 村民
2. 開催日時: 10月3日(火)午後7時～
3. 開催場所: 大宜味村農村環境改善センター 2階ホール
4. 開催内容: 施設整備に関する概要や開園に向けた今後のスケジュールなど



【お問い合わせ先】
 大宜味村役場子ども子育て支援室 宮城まで
 ☎ 0980-44-3040

大宜味村国民健康保険 看護師の募集について

1. 職種
 国民健康保険 看護師(1名)
2. 主な仕事内容
 特定健康診査・保健指導等に関すること。
3. 申し込み条件
 ○村内在住の方
 ○正・准看護師資格のいずれか
 ○普通自動車運転免許
 ○パソコン操作可能な方
4. 報酬月額
 月額 210,000円
5. 各種保険
 社会保険・雇用保険・労災保険
6. 勤務時間
 月曜日～金曜日(週5日 土・日・祭日休み)
 午前8時30分～午後5時15分(午後12時～午後1時 休憩時間)
7. 提出書類
 ○履歴書 ○納税証明書 ○健康診断書
8. 募集期間
 平成29年10月5日～平成29年10月13日まで



【お問い合わせ先】
 大宜味村役場 住民福祉課 国保年金係
 ☎ 0980-44-3003 FAX 0980-44-3139

季節性(小児)インフルエンザ予防接種の費用助成について

村では、季節性(小児)インフルエンザ予防接種費用の一部の助成を下記のとおり行いますのでお知らせいたします。

対象者: 予防接種を受ける日において大宜味村に住所を有する方で、生後6カ月児から中学3年生まで

接種回数: 生後6カ月～小学6年生は2回

中学1年生～中学3年生は1回

対象期間: 平成29年10月1日～平成30年2月28日

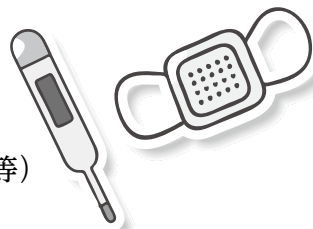
助成額: 生後6カ月～小学6年生は1回目上限2,000円、2回目上限1,000円

中学1年生～中学3年生は上限2,000円

必要なもの: 予防接種の領収書、申請者の印鑑及び振込口座がわかるもの(通帳等)

申請期限: 平成30年3月30日

申請場所: 大宜味村役場 住民福祉課



【お問い合わせ先】 大宜味村役場住民福祉課 ☎0980-44-3003

塩屋漁港で日曜朝市を開催しています!!

8月27日(日)から塩屋漁港にて大宜味海人会主催による日曜朝市を開催しています。

新鮮な大宜味村内の漁獲物・生鮮品を販売しています。何かあるかは来てからの楽しみとなっています。

【開催日時】

第2、第4日曜日の8時00分から12時00分まで。

また、大宜味海人会では村内で作った農作物の出品者も募集しています。出品料等は別途規定がありますのでお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

大宜味海人会 〒905-1311

大宜味村字塩屋987-3 塩屋漁港内

代表 新崎悟一 ☎090-2655-9912



▼大宜味海人直売店



大宜味村のネコ条例 ネコの適正飼養について

大宜味村にはネコ条例が制定されています。ネコを飼養するには、村にネコを登録する義務がありますので登録をお願いします。登録したネコ(飼いネコ)については室内で飼うことが条例で定められています。現在、ネコの放し飼いによる野生繁殖、近隣へのトラブル、希少野生生物捕食が確認されています。飼いネコについては正しく飼養するようお願いします。

【お問い合わせ先】

大宜味村役場建設環境課 環境水道係

☎0980-44-3280

大宜味村エコツアーリズム人材育成講習会 ～世界の人々と交流するための集中講座～

大宜味村の“身近な自然の魅力”を簡単な英語を使って世界の人々と交流するための、超初心者向け講習会です。あなたの気持ちと基本的な英単語で、世界の人々に大宜味村の魅力を発信できます！身近な自然の知識と外国の人と交流する方法を身につけてみませんか？ぜひご参加ください。(全5回開催予定)

第1回 10月14日 15:00～
農村環境改善センター

【応募先】大宜味村生物多様性センター運営協議会
担当:増田 ☎080-1784-8210

【締切】10月13日

10月・11月は農業者年金加入推進強化月間です。

農業者年金をおススメする6つのポイント

1. 農業者なら広く加入できる。(農業従事日数が年間60日以上)
2. 積み立て方式・確定拠出型で安定した年金財政。
3. 保険料の国庫補助あり。(認定農業者など)
4. 保険料の金額は自分で選べ、いつでも見直しができる。
5. 社会保険料控除など税制面での優遇措置。
6. 終身年金(早く亡くなっても80歳までの分は保証付き)

一人ひとりの農業者を応援する
農業者年金



加入は60歳未満まで!
お早め!!
夫婦でも加入できます。



加入者の声

★積立方式で安心、節税にもなる(夫婦で加入)

「新制度発足当初は、40歳未満でないと加入出来ないと思っていたが、60歳未満であれば加入出来ると知り、積立方式で安心だし、節税にもなるので加入しました。」

保険料は全額社会保険料控除の対象となります。

その他の声

★「農家には退職金もない。国民年金だけでは老後の生活に足りないので加入しました。」

注意:加入資格は国民年金第1号被保険者(国民年金保険料納付免除者を除く)であることが必要です。
また、加入される方は、国民年金の付加年金の加入義務があります。(月額400円)

【お問い合わせ先】 詳しくはJA大宜味支店 ☎0980-44-3133
または大宜味村農業委員会 ☎0980-44-3477

空き家活用推進事業補助金の案内

人口減少に歯止めをかけ、さらには人口増に寄与できるように村内にも多く存在する空き家を活用して移住定住促進に取り組んでいます。村内の空き家を活用して定住したいという方に、予算の範囲内(200万円)で建物の改修費の補助を行います。

《要件》

- ・空き家所有者等と空き家入居者との契約が成立していて、空き家改修を実施した方。
- ・10年以上の入居。

《対象経費》

- ・住宅の機能向上のために行う修繕や模様替、設備改善及び敷地内の整備等に係る費用として補助します。

《補助額》

- ・村内業者による施工:補助対象経費の3分の2以内(ただし100万円を限度とする)
- ・村外業者による施工:補助対象経費の2分の1以内(ただし50万円を限度とする)

その他要件等ありますので担当課までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】
大宜味村役場企画観光課 ☎0980-44-3007

「法律・行政・人権合同相談」開催のお知らせ

日時:平成29年10月25日(水) 13時30分～
16時30分(最終受付16時)

場所:大宜味村農村環境改善センター2階会議室

【お問い合わせ先】
大宜味村役場総務課 ☎0980-44-3001

第44回おおぎみ展開催と作品募集について

【開催日時】平成29年11月2日(木)～11月4日(土)

【会場】旧大宜味小学校体育館

【作品募集部門】 絵画・彫刻・写真・書道・陶芸・漆芸・
染織・木工芸・民芸・生花
その他、保育所・幼稚園・小学生・
中学生・高校生の作品

【募集方法】 出品申込書に所定事項を記入し、大宜味村教育委員会へ提出する。

【募集期限】平成29年10月20日(金) 17:00まで

※募集規定・応募資格については大宜味村教育委員会へお問い合わせください。

【お問い合わせ先】
大宜味村教育委員会 教育課 担当:寄合
☎0980-44-3006 FAX0980-44-3020

第22回 しまんちゅ芸能開催と出演者募集のお知らせ

【開催日時】平成29年11月5日(日) 16:00～

【会場】大宜味村農村環境改善センター

【出演者募集期間】平成29年10月13日(金) 17:00まで

【応募資格】

- ・村内在住者、村出身者、村内に職場を有する者及び村内で芸能活動を行っている者。
- ・複数で出演希望する団体については、半数以上が村内在住者であること。

【応募方法】

- ・申込票に所定事項を記入し、大宜味村教育委員会へ提出する。

※申込票は大宜味村教育委員会、又は大宜味村HPにて入手できます。

【主催】大宜味村教育委員会・しまんちゅ芸能実行委員会

【お問い合わせ先】 大宜味村教育委員会
☎0980-44-3006 FAX0980-44-3020

Happy Birthday
満1歳お誕生日おめでとう!!
 (タンカー祝い)
 世界にたったひとつのスマイル!!
 1歳の誕生日の子供たち(10月生まれ)




あき
與那城 昌くん (津波)
 (平成28年10月11日生)



まなさ
前田 真冴くん (楓屋)
 (平成28年10月21日生)

村の人口
 8月末現在

男 **1,646人** (±0)
 女 **1,498人** (±0)
 計 **3,144人** (±0)

世帯数 1,656世帯数 (-1)
 出産 1人 転入 15人
 死亡 5人 転出 11人
 ※注() 内数は対前月比

Photo
 9月10日(日) 田嘉里ウシンデークからの1枚



平成29年
大宜味村むらづくり
応援寄附

	8月分	累計(1~8月)
件数	329件	3,348件
金額	5,315,000円	66,253,001円

県内外より本村にご寄付頂き心より感謝申し上げます。

10月 October November
 10月1日~11月10日 **大宜味村カレンダー**



1日	◆村体協陸上競技大会
2日	◆区長会 ◆農業委員任命式
3日	火
4日	水
5日	木 ◆生涯学習講座
6日	金 ◆幼少中一斉授業参観日 ◆大小:校内童話お話大会
7日	土 ◆国頭地区中学校陸上競技大会 ◆わんぱく体験団④
8日	◆大宜味幼稚園運動会
9日	◆体育の日
10日	火 ◆幼稚園振替休日
11日	水
12日	木 ◆生涯学習講座
13日	金
14日	土
15日	◆一心会運動会
16日	月
17日	火
18日	水
19日	木
20日	金 ◆健康測定・ジョイビート
21日	土 ◆辺土名地区ミニバスケットボール交歓会
22日	◆国頭郡陸上競技大会 ◆第48回衆議院議員総選挙
23日	月
24日	火 ◆こころの健康相談会
25日	水
26日	木
27日	金
28日	土 ◆国頭地区中学校駅伝競走大会
29日	◆村老人・婦人合同スポーツ大会
30日	月
31日	火
11月 November	
1日	水 ◆区長会
2日	木 ◆沖縄県広域地震・津波避難訓練 ◆おおぞみ展(旧大宜味小)~4日 ◆乳幼児健診
3日	金 ◆文化の日
4日	土 ◆県立図書館移動図書館
5日	◆しまんちゅ芸能
6日	月
7日	火
8日	水
9日	木
10日	金 ◆秋の遠足(幼稚園)

※このカレンダーは予定ですので、都合により変更されることがあります。各業務については電話等で確認してください。



村内アレコレ



大富集落にて移民65周年記念式典・祝賀会開催!



8月26日(土)、竹富町字南風見仲の大富集落にて「移民65周年記念式典・祝賀会」が開催されました。大富集落は1952年の琉球政府の計画移民により、大宜味、竹富などからの入植によって形成された地域です。大宜味の「大」と竹富の「富」を合わせて「大富」と命名されています。村長は記念式典・祝賀会に出席し、「幾多の苦勞を乗り越え今日の素晴らしい繁栄を築きあげたことに心から敬意を表します。2世3世といつまでも交流が繋がっていただけるように頑張りましょう」と祝辞を述べました。

災害に備え訓練実施!



9月2日(土)、大保ダムにおいて「平成29年度沖縄県総合防災訓練」における大宜味村公助訓練」が実施されました。訓練は、9月1日(金)に名護市の北西100km付近を震源とする地震により、北部地域に甚大な被害が発生したという想定で行われました。訓練には村長を始め、総務課や住民福祉課の職員、消防団員などが参加し、応急救護所の開設や重傷者航空搬送の流れを確認しました。搬送や応急救護に関しては職員でも対応できるように、担架がない場合の搬送方法や負傷者のトリアージ(緊急度に応じて治療や搬送の優先順位を決める)について学び、防災力の向上を図りました。

第40回ヤマシシ運動会ごっこ



9月16日(土)、旧塩屋小学校体育館において、塩屋保育所による「第40回ヤマシシ運動会ごっこ」が開催されました。「各年齢の身体発達に応じた運動あそびにチャレンジする」のねらい通り、0歳児から2歳児の子どもたちは親の手を借りて、3歳児・4歳児の子どもたちは親と協力しながらプログラムを楽しみました。子どもたちはプログラムの初めから終わりまで元気いっぱい、終盤の3歳児・4歳児によるパトリンレーでは、子どもたちからアンコールが起これもう1回走るといふ底知れぬパワーを見せてくれました。

大宜味小学校・中学校第2回大運動会



9月17日(日)、「大宜味小学校・中学校第2回大運動会」が同校グラウンドにて開催されました。小学校が統合、中学校が移転して2回目となる運動会です。小学生も中学生も全力で走り、全身で表現し、一致団結したチームワークを見せ、家族や地域の方々に成長した姿を見せていました。プログラムには老人会やPTSA、同窓生も出演があり、大運動会を盛り上げました。

大宜味小「第24回コカ・コーラ環境教育賞」優秀賞受賞!!



9月19日(火)、大宜味小学校校長室において、「第24回コカ・コーラ環境教育賞」活動表彰部門優秀賞盾贈呈式が行われました。式には沖縄コカ・コーラボトリング(株)の高橋俊夫取締役会長や宮城達也校長・米須邦雄教育長・児童代表3名(真栄田楓夏さん・玉城美愛音さん・宮城はちさん)と学校関係者などが参加しました。1994年に設立された同賞は、環境教育に関する活動が顕著である団体・個人を表彰しています。3名の児童は、8月に北海道で行われた最終選考会に参加し、小学校での自然についての学習や、蝶と環境の関係性の研究とその成果を発表しました。贈呈式に参加した真栄田楓夏さんは「発表は緊張したけど、しっかり発表できて良かった」と話しました。

9月22日は「シークワサーの日」



9月22日(金)、サンエー那覇メインプレイスにおいて、県シークワサー消費推進協議会による「シークワサーの日」制定セレモニーが開催されました。しまくとぅばでみかん類を九年母(クニブ)と呼ぶことから、語呂合わせで9月22日としました。宮城功光村長はセレモニーにおいて、「国内シークワサー発祥の地であるここ沖縄から、本日、シークワサーの日を宣言します」と力強く述べました。同日には道の駅おおぎみにて、大宜味産シークワサーの関連商品即売会も行われました。大阪から観光で訪れたという男性は、完熟シークワサージュースを飲み、「美味しい。自分には程良い酸味が合う。お土産も買ったしお酒に入れて飲もうかな」と話しました。